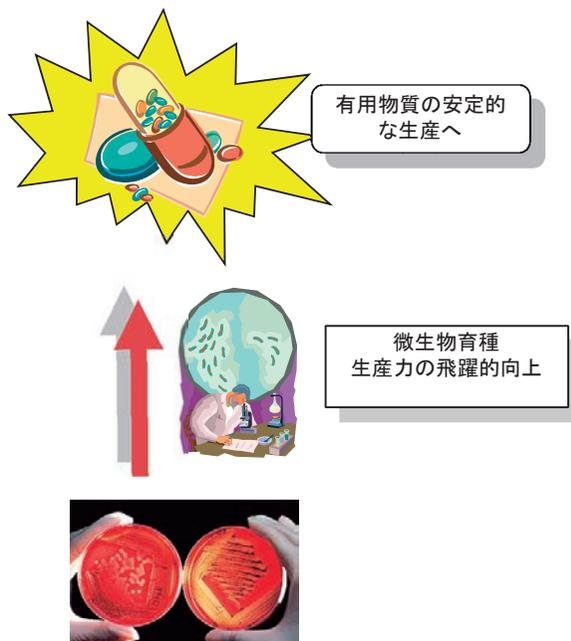


発酵微生物の育種

Keyword: 発酵生産、微生物制御、生理活性物質、抗生物質

微生物は、発酵産業において多く用いられている。特に、放線菌は抗生物質生産において重要な微生物であるが、その生産制御は非常に難しい。とくに、生産量の少ない物質の安定的な生産は非常に重要な課題であり、リボゾーム工学と呼ばれる手法で生産量の増大が可能であることが分かっている。そこで、発酵微生物を用いてその生産制御を行い、生産量の少ない物質の生産量の向上を行う。



研究の概要

ラバ
イオ
サイ
エンス

・特筆すべき研究ポイント:

リボゾーム工学に基づく生産菌の変異株の作成
生理活性物質の化学分析

・新規研究要素:

食品添加物生産などに用いられている発酵微生物の育種に特化した研究は世界的にも少ない。さらに転写・翻訳という生物の持つ基本的なシステムを利用するため、幅広い微生物に応用が可能である。

・従来技術との差別化要素・優位性:

通常の微生物育種法では得られない変異株の取得。

アピールポイント



小谷 真也

学院院農学領域
応用生物化学系系列
准教授

■ 技術相談に応じられる関連分野

- ・発酵微生物の育種
- ・生理活性物質の分析

■ その他の研究紹介

- ・放線菌からのペプチド性抗菌物質の単離